

## 事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 障がい者支援施設

事業所名 アルプス学園

### 第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。  
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態  
 「b」評価・・・aに至らない状況=多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態  
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。</li> <li>■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。</li> <li>■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。</li> <li>■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。</li> <li>■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。</li> <li>■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。</li> </ul>	<p>○利用者ひとり一人の人間としての尊厳を守り、豊かな人生を自己実現できるように支援することを責務と掲げ、支援者として確固たる倫理観をもち、その専門的役割を自覚して、日々の支援に取り組まれています。</p> <p>○コロナ禍で外出制限もあり、個々の希望に沿った外出や衣類購入も希望に応じる事が難しい時期もありましたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行により、今後行動制限を軽減し、改めて個別支援計画に基づいた利用者個々のニーズに沿った支援に努めています。</p>

	<p>(2) 権利擁護</p>	<p>① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 7 利用者の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</li> <li>■ 8 利用者の権利擁護のための具体的な取組を利用者や家族に周知している。</li> <li>■ 9 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</li> <li>■ 10 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法等を明確に定め、職員に徹底している。</li> <li>■ 11 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。</li> <li>■ 12 権利擁護のための取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</li> <li>■ 13 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。</li> </ul>	<p>○権利擁護についての書類の整備は徹底され、毎年講師を招いての研修を実施し、その様子をビデオにおさめて職員全員で周知を図り、権利擁護の質の向上に努めています。</p> <p>○利用者の重度・高齢化に伴い、改めて身体拘束や虐待防止、マニュアル等を徹底整備し、令和5年度の事業計画には「常に利用者の権利擁護を意識して」と掲げ、全職員の知識・技術の向上を図る為の研修を実施するなど、サービスの質の向上に努める取り組みが行われています。</p> <p>○職員の行動指針に「みてみて支援」を定め、いかなる理由があろうとも権威的ならず、暴力、暴言、差別は行わず、お互いに注意し、正していける関係を築くとし、日々の実践に努めています。</p>
<p>2 生活 支援</p>	<p>(1) 支援の基本</p>	<p>① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 14 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。</li> <li>■ 15 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。</li> <li>■ 16 自律・自立生活のための動機づけを行っている。</li> <li>■ 17 生活の自己管理ができるように支援している。</li> <li>■ 18 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。</li> </ul>	<p>○高齢化、重症化が進む中、個別支援計画を基に、職員の手厚い配置基準に改めた取り組みで、見守りと支援・ケアを継続する中、日中生活支援においてグループ分けした体制で望み、個々の安全を見守ると共に、個々の意向に沿った支援を繰り返し、未来への自立生活への希望に沿った支援を繰り返しています。</p> <p>○「ここを出て暮らしたい」と希望されている利用者さんの話に、真摯に向き合い、今の暮らしに足りない事も含めた検討をされています。</p>

○利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。

<p>② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■</p>	<p>19 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。</p> <p>■</p> <p>20 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。</p> <p>■</p> <p>21 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。</p> <p>□</p> <p>22 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。</p> <p>□</p> <p>23 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。</p>	<p>○日常生活の中で、個々の要望や要求、行動などから意向をくみ取り、タブレットを用いたり、ネットゲームなどでコミュニケーションの機会を設けるなど、個々の興味のある手段を活動に繋げています。</p> <p>○利用者の「こすもすの会」から希望を聞き取って、食事では選択メニューを定期的に準備したり、旅行実施前に、いくつか選べるような計画内容を準備するなど、色々な場面で「選ぶ」楽しみに繋がられるような取り組みを期待しています。</p>
<p>③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>24 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。</p> <p>■</p> <p>25 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。</p> <p>■</p> <p>26 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。</p> <p>■</p> <p>27 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。</p> <p>■</p> <p>28 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。</p>	<p>○相談支援事業所からのサービス等利用計画を基に、利用者個々のニーズを知り、当園利用に際し何を求めているのかをサービス管理者を中心に関係支援者と共に検討して、個別支援計画に結びつけています。計画作成時やモニタリング時には、担当職員と向き合っており、意向を聞き取り、読み取ること、日々のケアに繋がっています。</p> <p>○日常生活の中でのやり取りを大切に、その時々個々の意向を察し、可能な限り、意向に沿った支援に結びつくように努めています。</p>

<p>④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>b)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 29</li> <li>■ 30</li> <li>■ 31</li> <li>□ 32</li> <li>□ 33</li> <li>■ 34</li> </ul>	<p>29 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動（支援・メニュー等）の多様化をはかっている。</p> <p>30 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。</p> <p>31 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。</p> <p>32 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。</p> <p>33 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。</p> <p>34 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。</p>	<p>○各グループごとの日中活動では、利用者個々の出来ることや好きなことを探りながら、ペットボトルのラベルはがしやアルミ缶つぶしなどを行い、散歩やドライブを行うなど外出支援にも取り組んでいます。</p> <p>○職員の不足を感じながら個々の希望を叶えられるように、個室を提供してネットに繋げるなど、可能な限り希望に沿った支援に努めています。個別支援計画の定期的な見直しをする中で、コロナ禍後の支援内容を見直し、レクリエーションの場や地域交流・外出等と、地域情報を集約した新たな活動に期待しています。</p>
<p>⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 35</li> <li>■ 36</li> <li>■ 37</li> <li>■ 38</li> <li>■ 39</li> </ul>	<p>35 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</p> <p>36 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</p> <p>37 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。</p> <p>38 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</p> <p>39 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</p>	<p>○コロナ禍の中、虐待防止研修として、県の出前講座をウェブで受けたり、松本圏域のビデオ研修を受けるなど、全職員が学べる場を設けて、利用者に対する差別、虐待、人権侵害を許さず、利用者の権利擁護に努めて、質の高い支援に望んでいます。</p> <p>○地域のニーズに応え、重度な障がい者を受け入れ、適切な対応を支援員全員で検討して、日々の対応に努めています。</p> <p>○利用者の高齢や重度化に伴い、必要な設備や改修検討を行う計画や、定員変更や個室化を進める計画もあり、環境整備に取り組まれています。</p>

		(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 40 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。</li> <li>■ 41 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。</li> <li>■ 42 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。</li> <li>■ 43 利用者の心身の状況に応じて排泄に応じて排せつ支援を行っている。</li> <li>■ 44 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。</li> </ul>	<p>○食事は、定期的に嗜好調査を行い、苦手な物は代替食、嚥下障害にあった食事形態や詰め込み等色々な障がいにあった支援に努めています。</p> <p>○個々の排泄状況にあわせ、適宜のトイレ誘導者や夜間防水マット使用者、ポータブルトイレの設置など、個々の自立にも配慮した支援に努めています。</p> <p>○入浴は週に3回男女交互に行い、清潔保持と身体の状態把握に努めると共に、夜間発汗の多い利用者は、毎朝の着替えを促して個別の対応を行っています。</p>
A	2	(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 45 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。</li> <li>■ 46 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。</li> <li>■ 47 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠（休息）できるよう生活環境の工夫を行っている。</li> <li>■ 48 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。</li> <li>■ 49 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○二人部屋が多い現状ですが、今後入所定員数を減らし個室化を進めていく予定となっています。現在の環境の中で、倉庫を片付けて一人で過ごせる場を作って、ネットを楽しめる部屋を提供し、個々の意向に沿った支援に取り組まれています。</p> <p>○食堂は天井も高く、明るく広々とした環境が整い、個々の食事特性に配慮した配置がとられています。仕切りは透明な物を使用し、開放的な雰囲気となっています。浴室も広く、施設内に1つなのでゆっくり楽しめるように1日おきに男女交互に入っています。</p>

<p>(4) 機能訓練・生活訓練</p>	<p>① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	<p>c)</p>	<p>■ 50 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。</p> <p>□ 51 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。</p> <p>□ 52 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。</p> <p>□ 53 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。</p> <p>□ 54 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。</p>	<p>○日中は個々の特性に応じて5つのグループ分けをして、散歩やペットボトルのラベル剥しやアルミ缶つぶしなどの軽作業に取り組んでいます。</p> <p>○利用者の高齢化が進む中、外部から定期的に専門職を招いて指導や助言を受け、生活・機能訓練に繋がられるよう、また理学療法士・作業療法士等の専門職員を雇っていただけるようになど、技術面においても質の向上を考えた取り組みの計画があり、今後に期待しています。</p>
<p>(5) 健康管理・医療的な支援</p>	<p>① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■ 55 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。</p> <p>■ 56 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。</p> <p>■ 57 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。</p> <p>■ 58 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。</p> <p>■ 59 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</p>	<p>○交代勤務状況の中、毎朝の引き継ぎをしっかりと行い、利用者個々の体調状態を看護師に伝えて、日々の変化を見極め、その後の対応に繋がっています。</p> <p>○看護師の配置人数を手厚くして、毎日の入浴場面には、利用者個々の身体状態を把握するためにケアサポートに入り、日々の健康状態を確認していますや利用者の緊急時には、支援員の情報を的確に捉え、迅速に医師に繋げるなど、安心できる医療体制が整っています。</p>

	<p>② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 60 医療的な支援の実施についての考え方（方針）と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。</li> <li>■ 61 服薬等の管理（内服薬・外用薬等の扱い）を適切かつ確実に行っている。</li> <li>■ 62 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。</li> <li>■ 63 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。</li> <li>■ 64 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。</li> <li>■ 65 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</li> </ul>	<p>○精神科の医師が毎月訪問し、特に変化のある事項などを看護師から聞き取り、利用者個々の状態を把握しています。食欲や体重の増減なども確認し、安定剤の過剰投与にならないように、個々の特性を見極めた服薬処方に努めています。</p> <p>○高齢化や重度障がい者の受け入れ等を見据えた研修として、喀痰吸引の研修を実施したり、服薬投与の際の複数チェック方法の検討や、1対1での食事介助を遂行するなど、安心・安全なケアに日々取り組まれています。</p>
<p>(6) 社会参加、学習支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 66 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。</li> <li>■ 67 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。</li> <li>□ 68 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。</li> <li>□ 69 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○コロナ禍の中、外出制限と外部との交流に制限はありましたが、毎週自宅へ帰省したり、外出希望に沿い買い物に出かける等、個々のニーズに沿ったメニュー対応を行っています。</p> <p>○利用者の得意とする分野やご家族からの希望などを再確認し、社会参加に繋がるきっかけづくりに期待しています。</p>

<p>(7) 地域生活への移行と地域生活の支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 70 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。</li> <li>■ 71 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。</li> <li>■ 72 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。</li> <li>□ 73 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。</li> <li>□ 74 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。</li> </ul>	<p>○重度障がいの方々が多く入所されているので、対象となる利用者は少ないとのことですが、利用者個々の意向やご家族の意向を改めてくみ取ることで、地域参加、社会参加を図り、外部の方々の導入を図ったり、地域の情報を得て身近な活動に参加するなど、今後の取り組みに期待しています。</p>
<p>(8) 家族等との連携・交流と家族支援</p>	<p>① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 75 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。</li> <li>■ 76 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。</li> <li>■ 77 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。</li> <li>■ 78 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。</li> <li>■ 79 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。</li> <li>■ 80 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○家族会を年に2回開き、保護者・ご家族に現状報告をしていて、健康状態や心配事の相談を受けるなどして安心できる関係性を図っています。コロナ禍のため開催できない時期も続きましたが、今年度12月から再開して個別支援計画の見直し等を実施しています。</p> <p>○利用者預かり金管理については、複数人数でチェックしたり、利用料徴収の請求・領収証の徹底に努め、ご家族との信頼関係の構築に努めています。</p>



3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a) <input type="checkbox"/>	81	子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援（個別支援）を行っている。	対象外	
			b) <input type="checkbox"/>	82	子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。		
			c) <input type="checkbox"/>	83	子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。		
				<input type="checkbox"/>	84	子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。	
4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a) <input type="checkbox"/>	85	利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。	対象外	
			b) <input type="checkbox"/>	86	利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。		
			c) <input type="checkbox"/>	87	利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。		
				<input type="checkbox"/>	88		働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。
				<input type="checkbox"/>	89		仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。
				<input type="checkbox"/>	90	地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。	

			<p>② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。</p>	<p>a) <input type="checkbox"/></p> <p>b) <input type="checkbox"/></p> <p>c) <input type="checkbox"/></p>	<p>91 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。</p> <p>92 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。</p> <p>93 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。</p> <p>94 賃金（工賃）等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。</p> <p>95 賃金（工賃）を引き上げるための取組や工夫を行っている。</p> <p>96 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。</p>	<p>対象外</p>
			<p>③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。</p>	<p>a) <input type="checkbox"/></p> <p>b) <input type="checkbox"/></p> <p>c) <input type="checkbox"/></p>	<p>97 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大（職場開拓）に努めている。</p> <p>98 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。</p> <p>99 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者と企業とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。</p> <p>100 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。</p> <p>101 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。</p> <p>102 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。</p>	<p>対象外</p>